

【表の見方】
 「取組区分」⇒◎：地域職域連携推進協議会、○：協議会以外の会議（ワーキング等）、□：会議以外の取組
 ※下記表では、会議の一覧を最初に掲載し、会議以外の取組をその後、掲載。
 「取組名」⇒会議名や事業での取り組んでいる事業名 「実施月」⇒実施月（可能な範囲（例：10月～12月等）で記載）
 「取組み分野」⇒該当する取組みに○（複数の内容にまたがる場合は、該当項目のすべてに○を、主な目的となるもの一つに◎を記載）
 「取組む地域の健康課題」⇒取組を進めることの、地域の健康課題について、主なものに記載。 「目的・内容・対象 等」⇒取組における目的・内容・対象等について、概要を記載。
 「結果・課題」⇒取組の結果と取組みを踏まえた課題についてそれぞれ記載。

令和7年度 保健所圏域 地域・職域連携推進事業実績報告（保健所圏域別一覧）

二次医療圏	保健所圏域		取組区分	取組名	実施月	取組み分野																取組む地域の健康課題	目的・内容・対象 等	結果・課題			
	●：府管 ○：政中市	名称				生活習慣病発症予防				早期発見重症化予防		生活機能維持・向上		社会環境整備		その他											
						栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	フレイル	骨粗鬆症	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他							
1	01豊能	●	01池田保健所	◎	池田保健所 地域・職域連携推進協議会	R7年2月	○																		地域住民の栄養・食生活の改善及び糖尿病の重症化予防	【目的】 3年間の取組結果を共有し、次年度以降の取組の方向性を決定する 【内容】 ・地域・職域連携推進事業についての講義 ・野菜に関する取組結果の報告 ・次年度以降の取組内容の検討 【対象】 管内医師会、市町健康づくり・国保・後期高齢担当課、商工会議所・商工会、協会けんぽ、ダイハツ工業（株）	【結果】 ・令和8年2/20協議会開催 ・協議会参加：13/16機関（81.3%）20名 ・3年間の取組結果の報告と次年度以降の取組方針について合意形成できた ・協議会参加機関に関しては、会議当日の発言から地域と職域の連携の意義をより理解してもらえた 【課題】 ・「野菜」以外のテーマを希望する機関に対して、個別のアプローチが必要 ・野菜摂取量の向上について評価方法の検討が必要
2	01豊能	●	01池田保健所	□	野菜に関する啓発イベント	R7年5月～R8年2月	○																		地域住民の栄養・食生活の改善	【目的】 1日に必要な野菜摂取量の周知、野菜摂取量の向上 【場所】 管内2市2町、ダイハツ工業(株)敷地内、池田・箕面商工会議所 能勢・豊能商工会 【時期】 令和7年5月～令和8年3月 【内容】 ・池田保健所管内の各市町や企業で野菜に関する取組を行う。 ※各機関の状況に合わせて具体的な取組内容を決定する（野菜に関する取組のモデルプラン） ・野菜を手取る機会を作る。 方法：JAの野菜移動販売車を活用、直売所やマルシェとの連携 等 ・1日に必要な野菜摂取量を周知する。 方法：1日に必要な野菜摂取量を体感する機会の確保（フードモデル、生野菜を活用）、イベント等における栄養や野菜に関する相談の場の提供 等 ・1日に必要な野菜摂取量の認知度を把握するため、アンケートを実施する。 ・機関紙への野菜に関する記事掲載等	【結果】 ・14機関中12機関が、野菜に関する取組を実施できた。 ・JAの野菜移動販売車を活用したイベントでの野菜販売や、1日に必要な野菜摂取量を体感するゲームの実施、1日に必要な野菜摂取量の認知度を計るアンケートの実施、商工会報誌への野菜に関する記事の掲載など、様々な方法で、府民に働きかけることができた。 ・全14機関が、健康について、他機関と連携して、働き世代 に働きかける重要性を理解できた。 【課題】 ・14機関中2機関が、野菜に関する取組を実施することができなかった。特に、市町保健部門と関わりづらい職域や市町国保課において、野菜摂取量向上を目指した取組を実施する難しさを感じた。 ・野菜摂取量向上について働きかけた結果は、短期間で数値として表れるものではないため、評価が難しかった。
3	01豊能	○	02吹田市	○	健康すいた21推進懇談会	R7年8月R8年2月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職域における取組との連携が十分でない。	【目的】 市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むことで健康の保持・増進を図ることを目的に、健康づくりの取組に関して関係機関が連携し、必要な意見交換を行うため 【内容】 ・健康づくりに関する計画の策定・推進・評価に関する事項 ・健康づくりの推進を目的とした関係機関の情報交換、情報共有及び連携に関する事項 【対象】 市民、大学、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、商工会議所、栄養士会等	【結果】 ・令和8年度の次期計画策定に向け、健康に関する市民意識アンケート調査項目や、次期計画の骨子案の検討を行った。 【課題】 ・各団体の取組報告に留まり、連携した取組の実施には至っていない。 ・就労世代は社会保険の加入者が多いが、社会保険を含めた健康医療の最新データが市町村単位では取得が難しい。
4	01豊能	○	03豊中市保健所	◎	地域・職域連携推進協議会（豊中市保健医療審議会）	R7年7月	○	○																	制度間でのつながりが十分でない	【目的】 豊中市の保健医療についての総合的な施策その他の重要事項及び保健所の運営に係る内容についての調査審議、意見答申 【内容】 ・保健事業の実施報告及び実施予定 ・健康づくり・食育推進計画に基づく事業報告（地域・職域連携推進事業含む） ・その他 【対象】 市民、学識経験者、保健医療又は福祉の関係団体、事業者、市民団体	【結果】 令和6年度に実施した地域・職域連携事業に係る取組について紹介し、意見交換を行った <課題> 法制度上の問題等、一市町村では対応の難しい課題が多い
5	01豊能	○	03豊中市保健所	□	協会けんぽ 被扶養者集団健診におけるがん検診の啓発	R7年（通年）																			協会けんぽの被扶養者のがん検診の受診率が低く、認知度も低い。	【目的】 がん検診等を実施していない保険者の被保険者・その被扶養者に対し、市のけんしんを周知し受診勧奨すること、自身の健康管理に役立ててもらう。 【内容】 豊中市内の協会けんぽ被扶養者の集団健診において、市のがん検診受診勧奨を実施 【対象】 協会けんぽの被扶養者	【結果】 ・9か所384人の健診受診者全員に自治体がん検診・歯科健診について啓発することができた 【課題】 ・チラシ配布啓発に伴う検診受診者をカウントできないため、効果検証が難しい

二次医療圏	保健所圏域		取組区分	取組名	実施月	取組み分野																	取組む地域の健康課題	目的・内容・対象 等	結果・課題
	●：府管 ○：政中市	名称				生活習慣病発症予防			早期発見重症化予防			生活機能維持・向上			社会環境整備		その他								
						栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他			
25	03北河内	●	07守口保健所	○	地域職域連携推進全体会議	R7年8月 R8年3月	○	○															生活習慣病に関する指標が全体的に良くない。 【目的】 地域と職域が連携し、地域全体の健康課題を解決する方策を検討することにより、住民が生涯を通じて継続的な健康支援を受けられる基盤づくりを目指す。 【内容】 8月(書面開催) ・本会議の経緯について共有 ・全体での取組について意見集約 3月 ・今年度の取組について共有 ・今年度の各組織の取組について(これまでの取組も含む) 共有・意見交換 ・全体での取組について意見交換・承認 ・R8年度の計画について意見交換・承認 【対象】 住民、医師会、歯科医師会、薬剤師会、市(保健衛生・国保部門・教育委員会)、労働基準監督署、産業保健センター、商工会議所、協会けんぽ、事業所の保険組合	【結果】 ・各組織の取組について共有することができた。 ・全体での取組の方向性を承認してもらうことができた。 【課題】 個別で機関を超えた共同実施を行うことは難しい。	
26	03北河内	●	07守口保健所	○	地域職域連携推進ワーキング会議	R7年6月 R7年9月 R7年12月	○	○															生活習慣病に関する指標が全体的に良くない。 【目的】 地域と職域が連携し、地域全体の健康課題を解決する方策を検討することにより、住民が生涯を通じて継続的な健康支援を受けられる基盤づくりを目指す。 【内容】 6月 ・本会議の経緯について共有 ・全体での取組について「ワーキングコース作成班と体操・ポスター作成班に分かれグループワーク」 9月 ・全体での取組について(体操・ポスター作成) 12月 ・全体での取組について(ワーキングコース作成) ・令和8年度の計画案作成(グループワーク) 【対象】 住民、医師会、歯科医師会、薬剤師会、市(保健衛生・国保部門・教育委員会)、労働基準監督署、産業保健センター、商工会議所、協会けんぽ、事業所の保険組合	【結果】 担当者が意見を出し合い、運動を啓発するためのワーキングコースやポスターの検討を行うことができた。ポスターについてはラジオ体操を啓発する内容にし年度内に完成予定。ゆるキャラを用いたラジオ体操動画の作成も実施した。ワーキングコースについては、来年度完成予定。 【課題】 作成した媒体の活用方法や評価方法にはさらなる検討が必要。	
27	03北河内	○	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会	R8年2月	○	○	○	○	○	○	○	○	○								高血圧有病率が高い。 健診未受診 生活習慣の乱れ(特に喫煙) 【目的】 圏域の市民がライフステージごとで途切れることなく、生涯を通じて健康づくりの取組がはかれること 【内容】 今年度の取組報告、意見交換等 対象：医師会、薬剤師会、管内市健康づくり部門、国保部門、人事部門、教育委員会、協会けんぽ大阪支部、事業所等	【結果】 日時：令和8年2月26日(木)実施予定 ・今年度の事業検討部会、けんしん・保健指導向上部会の取組内容を報告予定。 ・次年度継続してオープン会議を実施予定であることを報告 【課題】 ・地域・職域連携推進事業に参画いただける事業所をいかに拡充するかが課題である。	
28	03北河内	○	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会 事業検討部会	R7年6月 R7年11月	○	○	○	○	○	○	○	○	○								高血圧有病率が高い。 健診未受診 生活習慣の乱れ(特に喫煙) 【目的】 圏域の市民がライフステージごとで途切れることなく、生涯を通じて健康づくりの取組がはかれること 【内容】 大阪府地域・職域連携推進協議会に係る基本方針の共有 地域・職域連携推進事業の中でできる取組みの検討 【対象】 管内市健康づくり部門、国保部門、人事部門、教育委員会、協会けんぽ大阪支部、事業所等の実務者	【結果】 第1回 日時：令和7年6月13日(金)10時～12時 ・オープン会議を実施。 ・オープン会議に参加した企業も含めて構成機関等が今年度の取組を共有、検討した。 第2回 日時：令和7年11月5日(水)14時～16時 ・今年度の取組内容と令和4年度からの構成機関の取組の評価(数値指標)及び次年度の取組を検討。 ・構成機関の企業が主催した地域職域連携事業の健康づくりイベントの実施報告 ・中間評価を行い、各関係機関の取組を可視化 【課題】 ・地域と職域が連携した健康づくりを構成機関以外の職域へどのように展開していくか検討する必要がある。	
29	03北河内	○	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会 けんしん・保健指導向上部会	R8年1月	○	○	○	○	○	○	○	○									健診受診率が府平均より低い (特にがん検診) 【目的】 働く世代のがん検診受診状況や患者の実態等について共有し課題解決に向けた取組が図れる 【内容】 意見交換会、地域のデータの見える化 対象：管内市健康づくり部門、国保部門、医師会管内の商工会議所、事業所等	【結果見込み】 日時：令和8年2月2日(月)～10日(火) 書面会議を開催 ・管内三市のがん検診の実施状況、受診率(速報値)、がん標準化入院比等のデータ等を集約し、各医師会及び管内三市の意見を集約 【課題】 ・各医師会と管内三市が顔を合わせた意見交換する場の設定が必要	

二次医療圏	保健所圏域		取組区分	取組名	実施月	取組み分野																取組む地域の健康課題	目的・内容・対象 等	結果・課題		
	●：府管 ○：政中市	名称				生活習慣病発症予防				早期発見重症化予防			生活機能維持・向上			社会環境整備		その他								
						栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他					
55	05南河内	●	13富田林保健所	○	富田林保健所地域・職域連携推進協議会	R8年2月	○	○		○	○	○							○	○	●	○	●	健康意識が低い ・健康に無関心 ・40～50代の運動習慣がない ・20～30代の朝食欠食 ・健診後の未治療や未受診	【目的】 ・地域と職域が連携し働く世代の健康づくりを推進することで、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図る ・働くことが健康行動につながる環境を整え、地域全体で日常生活の一部として0次予防からの健康づくりに取り組める地域を目指す 【内容】 ・地域・職域連携推進事業の報告 ・講演「働くことが健康につながるってほんと？～職場でできるちよつとした工夫とちよつと先の健康づくり～」 講師 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 小西 かおる 先生 ・来年度の取組案の協議 【対象】 管内関係機関 医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工会、協会けんぽ大阪支部、市町村担当課（国保部門・健康づくり部門）、羽曳野地域産業保健センター 近畿大学医学部公衆衛生学教室	【結果】 ・出席者は、構成機関24機関名27名(参加構成機関89%) ・協議会では保健所が目指す「働くことが健康につながる職場環境づくり」という方向性について共通認識を持つことができた。 ・0次予防の講演は、保健所の考える取組の方向性が妥当であることを専門的視点から確認する機会となった。 ・意見交換では、すでに階段ステッカーやラジオ体操などに取り組んでいる報告が共有された一方で、継続性や評価方法についての課題もあがった。 ・今後は、ワーキンググループを設置し、具体的な取組の推進と具体的な評価方法について検討していく。地域と職域が連携して事業を進めていきたい。①3つの取組を推進することを承認（トイレのストレッチチラシ掲示、階段利用の推進（ステッカー等）、立つて会議（スタンディングミーティング））②年間スケジュールを承認（2～3月：啓発媒体募集、5月：媒体選定・評価方法検討、6月：取組開始、10月：中間評価、R8年1月：報告・次年度検討）③ワーキンググループ設置（10名：メンバー7名、オブザーバー3名）、メンバーは、各機関に協力可否アンケートを行い、事務局が決定・通知する方法とする。 【課題】 ・取組が時間とともにマンネリ化しやすく、継続できる工夫が必要。 ・健康指標などのアウトカム評価は短期で変化が出ないため、まずは取組実施数などのアウトプット評価の整理が必要。 ・機関ごとに取組の進捗や温度差があるため、どこでも取組みやすいものが必要。 ・0次予防や環境づくりの方向性を協議会全体へさらに浸透させる必要がある。
56	05南河内	●	13富田林保健所	○	働く世代の健康づくり会議	R7年11月	○	○		○	○	○							○	○	●	○	●	健康意識が低い ・健康に無関心 ・40～50代の運動習慣がない ・20～30代の朝食欠食 ・健診後の未治療や未受診	【目的】 ・働く世代が、働くことを通じて自然に健康行動をとれるような職場環境づくりを推進することを目的とする。 ・事業所と行政が連携し、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸につながる取り組みを共有・検討することで、地域全体で働くことが健康づくりに繋がる環境づくりを目指す 【内容】 1.保健所からの報告 2.講演「働くことが健康につながるってほんと？～職場でできるちよつとした工夫とちよつと先の健康づくり～」 講師 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 小西 かおる 先生 3.グループワーク 働くことが健康につながる環境づくりを考える 【対象】 富田林保健所管内 ・健康経営優良法人認定事業所：1 7 事業所 ・協会けんぽ大阪支部の健康宣言事業所：3 3 事業所（健康経営優良法人認定事業所を除く） ・健康づくりに関心のある事業所：4 事業所 ・管内市町村担当課（国保部門・健康部門・高齢部門）	【結果】 ・出席者は、事業所6名、市町村14名、有識者2名 ・会議では、0次予防の考え方をテーマに講演とグループワークを行い、職場で取り組める具体策を検討した。 ・参加者の内訳は、事業所より市町村担当課が多かったが、市町村は事業所の課題や現状を知ることができ意見交換を行うことができた。 ・市町村が作成した健康づくりパンフレットを事業所へ渡すことで、取組みの周知につながった。 ・「健康を意識しなくても健康的な行動や生活習慣が実行できるような環境を整えていく」という0次予防の考え方は講義だけでは難しい参加者がいたが、グループワークをすることで0次予防の考え方の理解につながれた。 ・グループワークにおいて、「0次予防」の視点を取り入れた職場環境づくりでは、参加者の職場での担当事業の課題を発言する参加者も多数あった。 ・参加者が考えた取組み案は、最終的に、参加者全員の多数決により、3つの取組みに絞り込むことができ、一定の了解を得ることができた。 ・グループワークでまとめた3つの取組案は次のとおり①トイレにストレッチのチラシを掲示②エレベーターを使わず階段を使うよう職場で声掛け、ルール化する③会議を立てる 【課題】 ・市町村意見交換会を通じて、健診受診率の低さ、退職後の居場所づくり、ICT活用の必要性など、地域共通の課題が明らかになった。これらを踏まえ、今後は行政・企業・地域が連携協力し、働く人の健康づくりを日常の習慣にしていることが重要である。
57	06堺市	○	14堺市	○	堺市健康増進に関する連携協定締結企業担当者会議	R7年5月	○	○	○	○	○	○	○						○	○			○	働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知が十分にできていない。	【目的】 堺市の各種健（検）診の受診勧奨や、市民の健康増進や生活習慣の改善を目標に意見交換をし、連携した取組の検討。 【内容】 市のプランや施策、取組の共有。GWを通じ、他企業の取組の共有。 【対象】 堺市健康増進に関する協定締結企業・堺市包括連携協定締結企業(健康分野の取り組みがある企業のみ)、その他堺市の健康増進にご協力いただいている企業	【結果】 5月27日に会議を開催し、9社17名の参加あり。昨年度に引き続き「さかい健康プラン」の周知と、健康課題解決に向けた市の取組の共有ができた。今回のグループワークでは40～65歳以上が参加する健康増進につながるイベントを企画する内容のグループワークをし、12月3日さかい健康フェスティバル2025として実現できた。 【課題】 働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知はまだ十分ではなく、より企業と連携し、新たな取組の検討が必要である。
58	06堺市	○	14堺市	□	さかい健康フェスティバルinイオンモール堺鉄砲町、さかい健康フェスティバル2025	R7年9月	○	○	○	○	○	○	○						○	○			○	働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知が十分にできていない。	【目的】 働く世代・子育て世代をターゲットに、ショッピングモールやアミューズメント施設を活用した健康フェスティバルを行い、健康意識の向上を行う。 【内容】 ショッピングモールの催し広場やアミューズメント施設にて健康チェックブースやミニ健康講座を開催。 【対象】 堺市民 【関係機関】 堺市医師会、堺市包括連携協定締結企業(ショッピングモール)、堺市健康増進に関する協定締結企業(生命保険会社、製薬会社、アミューズメント施設)、がん相談支援センター、理学療法士会、市内関係各課(自転車企画推進課、スポーツ推進課、こころの健康センター)	【結果】 9月7日にイオンモール堺鉄砲町にて開催、12月3日にはアミューズメント施設で開催した。医師会や協定企業、市内関係各課等と連携し、主に働く世代にアプローチできるように工夫を凝らした。9月は約500人程度、12月は200人程度の市民にアプローチできた。 【課題】 市民へ提供するブース内容を検討し、引き続き、働く世代に向けたヘルスリテラシー向上の機会として開催していく。
59	06堺市	○	14堺市	□	健康づくりパートナー事業所への情報提供	R7年7月	○	○	○	○	○	○	○						○	○			○	堺市内の中小企業が	【目的】 堺市健康づくりパートナー事業所が健康に関する情報を知り、職場内の健康増進に取り組むことができる。 【内容】 堺市健康づくりパートナー事業所へ年2～3回、メールまたは郵送で講座の開催や堺市内相談窓口の案内、大阪府からの情報提供などの健康に関する情報を提供する。 【対象】 堺市健康づくりパートナー174事業所	【結果】 対象である174事業所に、郵送やメールにて、講座の開催や堺市内相談窓口の案内、大阪府からの情報提供などの健康に関する情報提供を行った。 【課題】 堺市健康づくりパートナー事業所において、届けた健康情報の使用状況について評価できていない。

二次医療圏	保健所圏域		取組区分	取組名	実施月	取組み分野																	取組む地域の健康課題	目的・内容・対象 等	結果・課題			
	●：府管 ○：政中市	名称				生活習慣病発症予防			早期発見重症化予防			生活機能維持・向上			社会環境整備		その他											
						栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他						
60	06堺市	○	14堺市	□	就労者対象歯科検診事業																					就労世代における定期	【目的】 就労世代の口腔内環境の改善・健康寿命の延伸 【内容】 就労世代に向けた企業向けの歯科検診を実施する。 具体的には以下のとおり。 ①対象となる企業の全従業員に対して、歯・口腔に関する事前の問診を実施 ②対象企業へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、歯科検診を実施 ③事前の問診内容と検診結果を基に、口腔衛生指導を個別に実施 ④結果に応じて歯科医院への受診勧奨 【対象】 市内の中小企業で働く従業員	【結果】 2企業、40人の歯科検診、結果に基づく簡易な保健指導を実施した。 定期的な歯科検診受診状況は企業差があるものの低い状況であり、自身の口腔状況を知る良い機会となった。 口腔内のトラブルを抱える就労者が8割以上と多いこと、またアンケートより、オーラルフレイルの認知度低さなどの現状把握ができた。 【課題】 今回知り得た現状から働く世代への効果的な歯科口腔分野をはじめとしたにおけるアプローチ方法を検討していく必要がある。
61	06堺市	○	14堺市	□	健康経営に関するセミナー																					行政の取組のみでは、	【目的】 健康経営の重要性を市内企業に伝え、従業員の健康増進に取り組む事業所を増やすことをめざす。また、セミナーをきっかけに関係機関や庁内関連部署と顔の見える関係の構築を図る。 【内容】 健康経営に関する基礎的な講義 市内企業の取組事例紹介 協会けんぽの取組紹介 健康チェック体験会（企業及びスポーツ部局のブース出展） 【対象】 市内企業経営者、管理者、総務担当者など	【結果】 昨年引き続き、協会けんぽや協定企業、庁内の産業振興やスポーツ関連部署などと連携したセミナーが実現できる見込みである。 またネクストプライト企業などの堺市内で健康経営を推進している企業の事例を紹介するなど具体的に取り組みやすい内容をお伝え予定である。 セミナーの開催は3月のため、参加実績は現段階では不明である。 【課題】 健康経営に無関心な企業等が興味を持つための手法を検討する必要がある。
62	07泉州	●	15和泉保健所	◎	地域・職域連携推進連絡会	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保健所管内のけんしん（健診・検診）受診率が全国平均よりも低い。	【目的】 地域及び職域において健康課題の共有と課題解決に向けた方策を検討する。 【内容】 ・和泉保健所管内における健康指標について ・健康づくり事業（ワーキング）の取組報告と事例発表 ・各機関の健康づくりの取組報告と意見交換 【対象】 地区医師会・市町国民健康保険担当・市町健康づくり担当・商工会議所・商工会・労働基準監督署・地域産業保健センター・協会けんぽ大阪支部	【結果】 地域、職域の各機関が情報共有・意見交換を通して健康づくりの必要性、連携の重要性を確認できた。 若い世代の保健事業参加率向上のために取り組めることをテーマに意見交換を行ったが、連携して取り組めることの見出しが難しかった。 【課題】 共通する健康課題としての健診受診率の増加にむけ、地域・職域が連携した健康づくりへの取り組みを推進するため中期的な目標、計画を立てることが必要である。関係者の気運醸成が必要であるため、今後、有識者による伴走型支援も検討したい。
63	07泉州	●	15和泉保健所	○	地域・職域連携推進ワーキング	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保健所管内のけんしん（健診・検診）受診率が全国平均よりも低い。	【目的】 管内市町、協会けんぽ担当者と連携した包括的な健康づくりを推進できるよう、地域及び職域において健康課題の共有と課題解決に向けた方策を検討する。 【内容】 ①けんしん（健診・検診）受診率向上のための啓発ポスターの掲示 ②中小企業への支援（働く世代への支援）の情報交換 ③各機関の健康づくり事業について情報交換 【対象】 市町国民健康保険担当、市町健康づくり担当、協会けんぽ大阪支部	【結果】 ①けんしん（健診・検診）受診率向上のためのポスター掲示：職域5機関、公共交通機関5施設、商業施設16施設に掲示依頼。チラシとして市民健康まつりで600枚配付。市町ワーキング担当者にも掲示を依頼したが、取りかかりが年度後半になる機関もあり、足並みをそろえた取り組みが難しかった。 ②中小企業への支援については、協会けんぽより情報提供があり、連絡会での取り組み報告に至る。 ③いずれの機関も若い世代の保健事業参加率向上が課題と把握し、連絡会の意見交換テーマとした。 【課題】 令和6年度と7年度の健診受診率を比較し、啓発ポスター掲示の取り組みを評価予定だが、ポスターの掲示以外にも各市町で受診率向上のための取組をしており、取り組みの評価が難しい。 共通した健康課題はあるものの、ワーキングとして取り組めることを選定するのは難しい状況である。ワーキング担当者の気運醸成も課題であるため、今後、有識者による伴走型支援も検討したい。
64	07泉州	●	15和泉保健所	□	職域への啓発																					健康づくり気運醸成とヘルスリテラシーの向上のための働きかけが必要。	【目的】 地域・職域連携推進ワーキングメンバーと連携し、管内商工会議所・商工会に対して、健康記事等を作成・提供する。商工会議所会員等の健康づくりのきっかけを作る 【内容】 ①管内商工会議所・商工会会報誌へ健康記事の掲載 ワーキングメンバー及び保健所保健師・栄養士が共同で健康記事を作成し、5回／年 管内商工会議所・商工会の会報に健康記事を掲載依頼する。 対象：管内商工会議所・商工会会員、住民（泉大津商工会議所・忠岡町商工会は住民に全戸配付している） ②健康リーフレットを管内商工会議所・商工会事務所に設置 健診受診勧奨や生活習慣病予防に関する健康記事と管内市町からのメッセージをリーフレットにまとめ、管内商工会議所・商工会に設置・配布依頼する。 【対象】 管内商工会議所・商工会会員、住民（泉大津商工会議所・忠岡町商工会は住民に全戸配付している）	【結果】 ①R7年度健康記事テーマ：できることから健活10（受診、睡眠、ストレス、飲酒、歯と口） 管内市町、協会けんぽと共同で記事を作成し、商工会議所・商工会へ掲載依頼を行った（5回/年） 令和8年度は歯と口の健康づくりをテーマ選定とした。 ②令和6年度分の健康記事をリーフレットにまとめ、4月に管内各商工会議所・商工会へ配付。令和7年度分の健康記事は令和8年4月に配付予定。 【課題・評価】 管内府民及び商工会議所・商工会会員等に対して健活10に関する健康情報を発信する機会となったが、機関によっては紙面のスペースの都合上記事掲載が難しい場合もあり、健康記事をリーフレットにまとめる等、引き続き関係機関と協力して情報発信に取り組んでいきたい。

二次医療圏	保健所圏域		取組区分	取組名	実施月	取組み分野																	取組む地域の健康課題	目的・内容・対象 等	結果・課題	
	●：府管 ○：政中市	名称				生活習慣病発症予防				早期発見重症化予防			生活機能維持・向上			社会環境整備		その他								
						栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	骨粗鬆症	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	ICT（PHR等）活用	社会環境整備	健康経営	その他				
77	08大阪市	○	18大阪市	◎	すこやか大阪21（第3次）推進会議	R8年2月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	・検（健）診受診率 低値 ・無関心層を含む周知啓発の強化 ・地域・職域連携の活性化	【目的】 市民の生涯を通じた健康の実現をめざし、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを活動を関係機関、関係団体、行政等が共同して支援し、大阪市健康増進計画「すこやか大阪21（第3次）」を推進するため、意見聴取を行う。 【内容】 ・すこやか大阪21（第3次）の普及啓発、支援体制、推進に関する事 ・地域・職域連携の推進に関する事 【会議委員】 ・市民、学識経験者、医療関係者、保健関係者、公募により先行された市民、その他健康局長が適当と認める者 医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域の関係団体（女性団体、地域振興会、食生活、健康推移等）、健康保険組合連合会、国保連、栄養士会、看護協会、学校保健会、大学 等	【結果】 ・会議において、地域職域連携の必要性及び大阪市の現状と取組みについて報告した。また大阪府から府下全体の現状や府（都道府県として）の役割や支援等について報告。 ・会議において委員に今後の取組に向けて地域・職域連携の一層の強化や課題解決に向けた具体的方策について意見を求めた。 ・意見等を実務者会議へフィードバックし、今後の検討や取組みに反映させていく。 【課題】 ・前計画の評価では、働く世代における健康指標が悪化しており、支援が不可欠。 ・地域職域連携推進に向けた基盤づくりや実務者会議の更なる活性化が必要。 ・健康課題を明確化し、働く世代に対する支援策の充実を図る。
78	08大阪市	○	18大阪市	○	地域・職域保健実務者会議（すこやか大阪21推進事業）	R7年10月 R8年3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	・地域・職域連携の活性化 ・検（健）診受診率 低値 ・無関心層を含む周知啓発の強化	【目的】 働く世代の健康づくりを推進するための地域保健・職域保健のネットワークづくりを行い、市民の健康づくり意識の底上げを図る 【内容】 1 地域・職域連携の体制づくり（地域職域連携推進のための基盤づくり） ・顔の見える関係づくり ・実務者会議の活性化 ・会議への新規参入部署の検討・アプローチ 2 健康課題やニーズの明確化 ・データ分析による健康課題の明確化 ・特定健診データセット（国保＋協会けんぽ）作成・分析 3 周知啓発強化の検討 ・無関心層を含むポピュレーションアプローチ ・中小企業向けメールマガジンの活用検討 【参加者】 （職域）全国健康保険協会大阪支部、大阪産業保健総合支援センター、 （地域）大阪市（福祉局保険年金課、こころの健康センター、健康局健康づくり課）	【結果】 昨年度の実務者会議から見えてきた課題に対し取組を実施。各機関の課題等を共有しながら、新規参入部署や周知啓発強化に向けた情報交換や議論を行った。 ・健康課題の明確化に向けたデータは分析中 ・次年度から中小企業と関わりのある労基署が参画予定 ・新たに庁内の関係部署と連携し、中小企業向けメルマガを活用した情報発信を開始。歯周病検診・禁煙・がん検診・健康に配慮した飲酒等の健康情報を発信した。 【課題】 働く世代の健康課題を明確化し、新規参入メンバーとともに中小企業向けの健康づくりのアプローチ方法を検討していく必要がある	
79	08大阪市	○	18大阪市	□	中小企業向け健康情報発信（メールマガジン）	R7年12月～ R8年3月				○	○	○	○					◎	○	○		○	・検（健）診受診率 低値 ・無関心層へ情報が届きにくい ・ヘルスリテラシーが十分でなく、健康行動につながりにくい	【目的】 検（健）診受診率低値等の課題に対し、健診や健康づくりに関する情報を広く届け、無関心層を含む周知啓発を強化することを目的とする。情報発信を通じてヘルスリテラシーを高め、受診行動を促し、将来的には健康寿命の延伸につなげる。 【内容】 ・中小企業向けメールマガジンを活用した健康情報の発信 ・主な発信テーマ：特定健診、がん検診、歯周病検診等の案内、休養・睡眠、禁煙、こころの健康、アルコール、運動等 【対象】 ・中小企業向けメールマガジンの受信者（事業主および従業員の双方に届く）約6万	【結果】 ・新たに庁内の関係部署と連携し、中小企業向けのメールマガジンを活用した健康情報の発信を開始。 ・新たな層に対する情報発信が可能となった。 ・掲載実績 掲載月：令和7年12月～令和8年3月 回数：16回 内容：歯周病検診、がん検診、アルコール、たばこ、女性の健康 【課題】 ・現在の運用は、各部署からの依頼に基づく不定期な情報発信に留まっている。今後は、年間計画に基づき、戦略的に情報発信を進めていく必要がある。 ・イベントや新規事業の案内などもタイムリーに掲載できるようにしていく。	